

喵喵喵

No No No



R-18
X-Rated

天目 創成科学研究科 魔属
アルクデンパトウノカイ

◀ 12.1話のあとで

「バス探しでだいぶ歩き回ったから、隅々までよく洗わないとね」

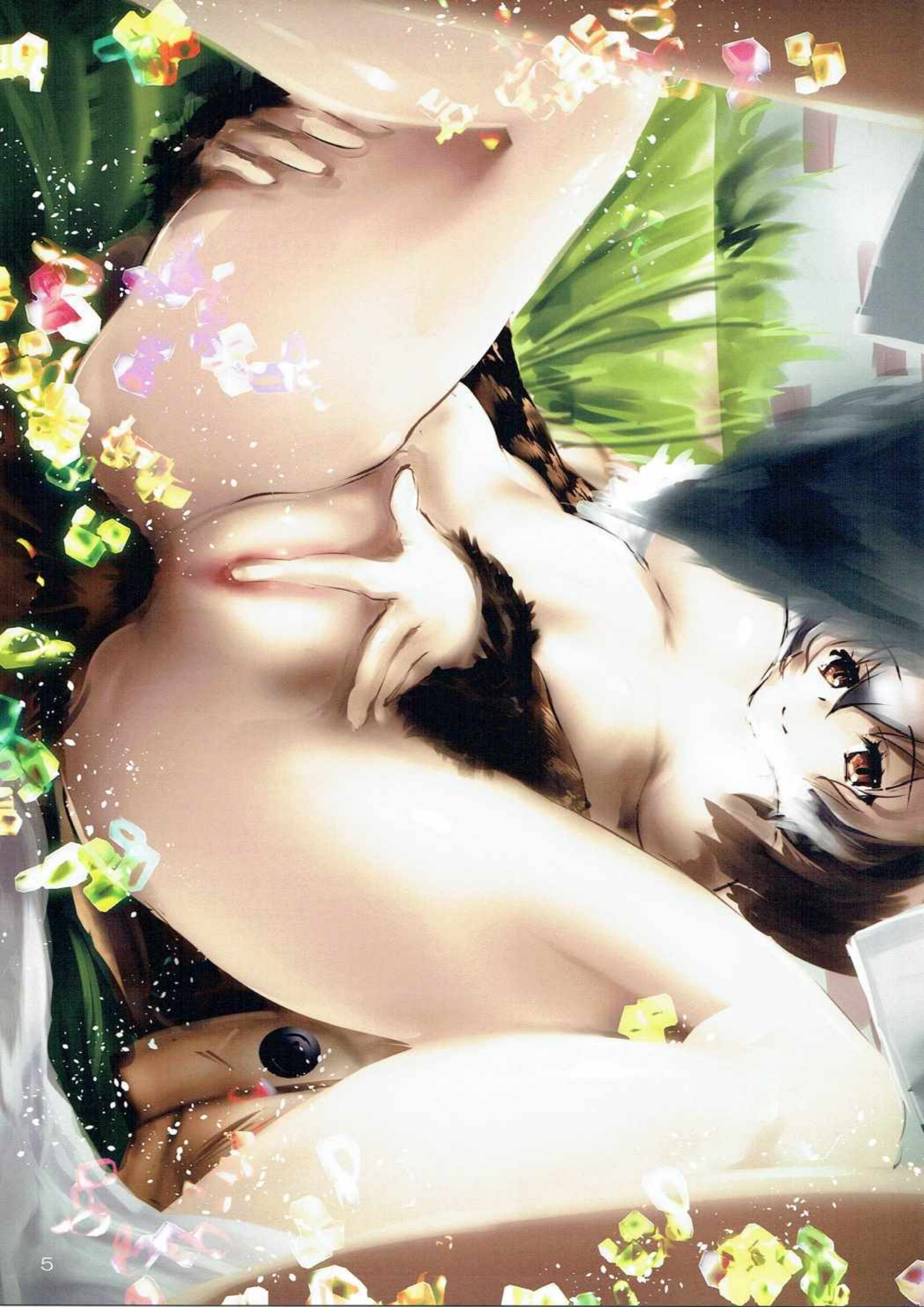
「こんなにじっくりあらってくれるなんて、フェネックはほんとうにやさしいのだ〜♪」

この本はちょっとえっちなイラスト・オリジナル解釈・独自設定を含みます。
苦手な方はご注意くださいなのです。









けものフレンズ新アプリ開発決定おめでとうございます!
あと舞台化も中の人があるままなら違和感はないはず!

dkwkしながら待つのであります!

さて。
「サンドスター」とはいったい何であろうか。これまでのところその疑問に対する明確な回答は、アニメおよびアプリ版、コミカライズ版のいずれの「けものフレンズ」にも記載されていない。はっきりしているのはただ一つ。「サンドスターによりフレンズが発生する」ということだけ。髪の毛一本から人間(※正確にはヒトフレンズ)の一個体を再生し、脳などによらない方法で記憶さえも補完し、おそらくは質量保存則をもくつがえす謎の物体。いかなる魔法であれ、呪いであれ、あるいは外宇宙の未知の文明からもたらされたナノマシンテクノロジーであれ、サンドスターの能力と汎用性はあまりに隔絶し一言でいえば荒唐無稽に過ぎる。

髪の毛にサンドスターが降り注いだらヒトフレンズが生まれるというのなら、1日に50本は抜け替わると言われる人間の髪の毛、少なくともミライさんの髪の毛(孫の髪の毛もある)から、大量のかばんちゃんがパーク運営当時に生み出されていなければおかしい。発生した量産型かばんちゃんをパークのガイドとしてパークが活用していた可能性も否定はできないが、おそらく本体の生物が活着しているうちはヒトの遺留物がフレンズ化することはないような制御がなされているということなのだろう…(つまりアニメの開始時点でミライさんはこの世にいない可能性が高い)、だがそのような条件付フロー制御がなされること自体が自然発生的なサンドスターの出現状況から見て不自然だ。

さらに他にも「サンドスターによりフレンズ化すると、元の動物あるいはその遺留物の性別に依らず女の子の身体になる」という設定がありながら、アプリ版では「人間の男性にサンドスターが当たってもフレンズ化(女性化)することはない」など人間だけ例外規定があることの不自然さは誰もが感じる事だろう。ヒトがサンドスターを生み出した? それにしてはサンドスターが火山から噴出したり、設定として違和感をぬぐえない。超古代文明の人類が生み出したものの危険すぎるので地中深くに封印したとかそもそもサンドスターは人類と言う種を生み出すため神の創りし道具(聖書で言うなら天使)であるとかの仮説により、牽強付会な目的性をサンドスターに付与しなければ到底説明できない。

では「けものフレンズ」は物質によらない仮想世界なのだろうか。アニメではサービス終了したアプリ版の、ゲームの世界にかばんちゃんが発生したのだろうか? 誰もアクセスしない間に勝手にゲームのパラメータが変化していくのがアプリ版けものフレンズのシステムだった、と? ソシャゲとしてありえない仕様である。

ならば、自然科学の基礎である「オッカムの剃刀」に従って最もシンプルな系を模索するならば、このように考えられないだろうか。「サンドスターは強力な幻覚誘導剤なのだ」と。

サンドスターのキラキラとしたエフェクト。フレンズたちの目が野生開放によって光る感覚増強の描写…これらはあたかも麻薬による諸症状のようにも思えてくる。動物がフレンズに見えているだけかもしれないし、そもそも「ミライさんの髪の毛」などなく、妄想の存在と対話したつもりになっているのかもしれない。いやフレンズに触れる描写があることから、単なる幻覚と言うよりは人間がフレンズに、岩が怪物に見えているサンドスター中毒者の見ている世界、それこそが「けものフレンズ」なのでは…?

むろん、けものフレンズの世界をこよなく愛する者の一人としてそのような救いのない世界設定は受け入れがたい。しかしながら、蓋然性が高い仮説であるのなら、これを無視することはフレンズを愛する者として逆に真摯ではない。ゆえに今回の本では、内心とても描きたくはないのだけれどもあえて上述の可能性に着目し「幻覚のたのしいフレンズたち」と「実際の退廃した光景」の対比的な構成を意図してみた。「けものフレンズ界にありうるひとつの可能性」として本書の内容を看過頂ければ幸甚である。

巨大セルリアンに食べられたい
時間に応じて服が脱げちゃう
さばんなちほーな第一話





もうじゃんぐるちほーも
おわりだね。
さば^{なわ}ばり^{ほり}ちほーまで
もうすぐだよ!



百メートル先ノ
交差点ヲ 右折
シテ クダサイ

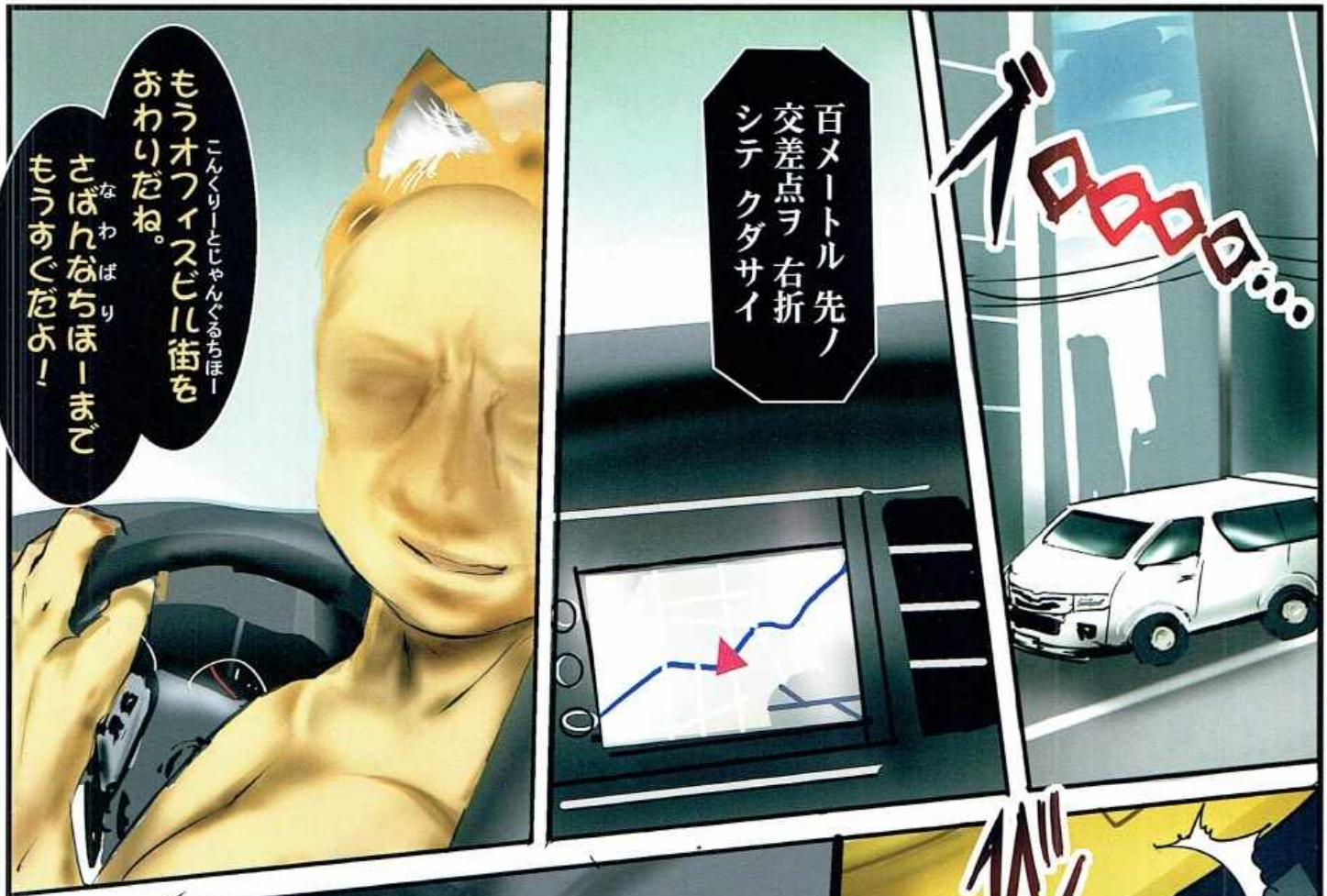


すす

ん?

ねちゃったみたいだね、
がばんちゃん

サンドスター効果：ON



もうオフィスビル街を
おわりだね。

さばんなちほーまで
もうすぐだよ!

百メートル先ノ
交差点ヲ 右折
シテクダサイ

クワッ



ん?

ねちゃったみたいだね、
がばんちゃん

サンドスター効果：OFF

かばんちゃん(仮) 本名不詳(○9歳)

小学校からの帰宅途中、サーバルちゃんを名乗る男に「かりごっこ」と称して捕獲、そのまま拉致される。「ジャパリパーク」で度重なるサンドスターの投与を受けて妄想の中の登場人物「かばんちゃん」としての記憶をくりかえし教え込まれ、植えつけられてゆく。



サンドスターを打たれるたび、いつもの薄汚い部屋は
きらきらとサイケデリックに輝く夢の国に。体を貫く
肉の注射は脳をとろかす甘美な悦楽へと変わり果てる。
次第に自分が誰だったのかすら、思い出せなくなって。
「ジャバリパーク」のかばんちゃんへと生まれ変わる。
彼女以降、次々とパークに新しいフレンズが招かれた。

えいぢのじかん

H n o J I K A N





カジラ偶蹄目 ラクダ科 ビクーニャ属

 アルパカ・スリ

Alpaca Suri

フェヴローニャ・ベルキナ(18歳) ウクライナ出身。
大学進学前の休みを利用して世界各地を旅行している。
日本は治安がいいと聞いていたので不用意に裏路地に入っ
てしまい、ジャバリバスに連れ込まれてジャバリ
パーク入りを果たすことに。



言わずと知れたジャバリパークの有名ペンギンアイドルPPP（ペパブ）。
アプリ版の初代PIPからはじまり、アニメ版の3代目にいたる。
みずべちほーで出会うことができる、

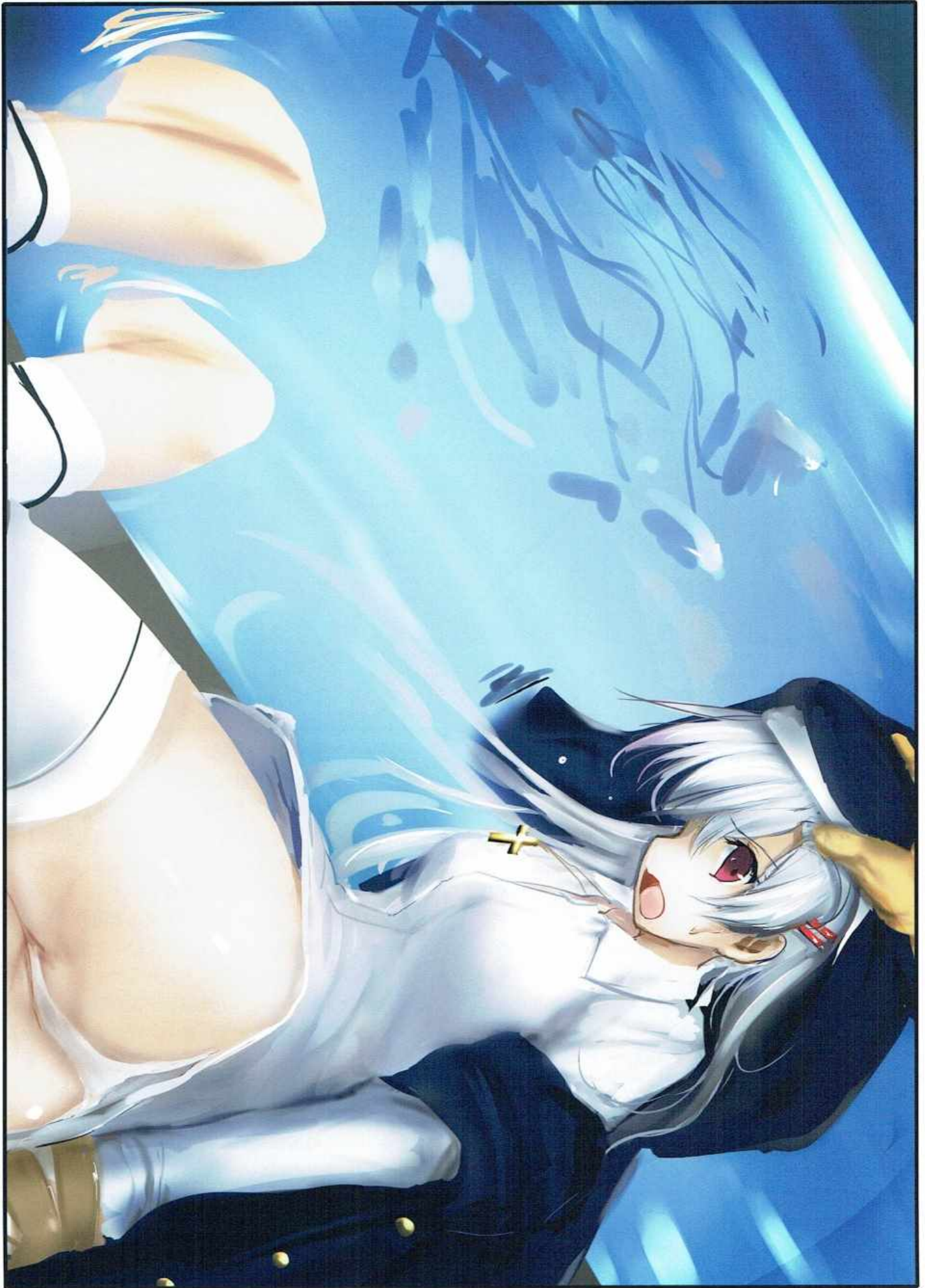
PPP



ミッションスクールの女学生たち。5人は人形劇部に所属しており、ホームや託児所などで奉仕活動をしている。ブレザー型の制服もあるが、副部長が異国の血を引いているため遺伝的特徴である銀髪や赤い瞳を気にしており外出時は礼拝用の修道服とヴェールを着用することから、部長や部員も彼女が目立たないようにともにヴェールを着込んでいる。学校にほど近い静かな湖畔で次の「へぼぶよこく」の練習中に、「サーバルちゃん」と出会う。



サーバルの腕力はロイヤルペンギンを小脇に抱えて運べるほど。その怪力の前には少女たちが5人いてもひとたまりもなかった。人質を取られ、言われるがまま服を脱ぎ、手指・腕を縛られる。それは、水辺では生殺与奪を握られているに等しい。逆らえば…





コウテイペンギン

人形劇部の部長としての責任感から自分を差し出して他の部員を守ろうとしたが、それが裏目に出てしまい「サーバルちゃん」に人質に取られる形で仲間たちをむざむざと手にかけてさせることになった。水辺だから率先して泳いで見せて盛り上げるつもりで制服の下にまとっていた水着は、スタイルの良いボディラインを全裸以上にいやらしく見せつけオスの獣欲を高める。仲間が凌辱される様を見て、罪の意識とともになぜか熱くなっていく身体に戸惑う彼女。出るべきところを出ているが、全体としては引き締まったダイナマイトボディは触れられる前からメスのフェロモンを漂わせ濡れそぼっていた。水着の股間部分の布地をずらして膣内に挿入されると男を知らなかった身体は初めての刺激に素直に反応し、破瓜の痛みさえ昂奮のシグナルとして意識を白く灼く。激しく貫かれるたび、たわわに実った乳は円を描くように揺れ、羞恥と共に官能をますます高めた。噴き出す汗でてらてらといやらしく輝く腋を舐められながら胎内に熱いほとぼしりの噴出を浴びた彼女は意識を手放し、性の快楽に溺れてゆく。

ジェンツーペンギン

仲間たちを見捨てて早々と屈服した二人は、まとめてジャバリパークのアイドルとして調教される。もはや3人しかいなくなってしまった「2代目」のPPPに。凄みに弱く簡単に言いなりになった少女は内気そうな外見と裏腹に挑発的なほど肉付きがよく、やわらかな全身を抱きしめながら深く挿入すると逃れようとするかすかな抵抗を腕に感じる。ひくひくと震えるような締め付けを楽しみながらのスローなセックス。あまり腰を前後させずペニスの先端を少女の最奥にねじ込み肌と肌を擦り付けるように動く。汗がまじりあう感覚に気弱そうな相貌へ僅かな嫌悪の色が浮かぶ。それを楽しみつつさらに強く抱きしめ、より奥深く押し付けながら子宮めがけ射精。瞳が絶望に染まっていく様にえもいわれぬ昂奮に襲われて、そのまま2回戦に移行。処女膜を喪ったばかりの傷痕を何度も殴りつけるように激しく抉る。強い痛みで泣き顔をゆがませ、最後はもうやめてと懇願する美少女の唇を奪いつつ一番奥でフィニッシュ。精神的にも深く満足できる抱き心地。



ロイヤルペンギン・プリンセス

最後まで激しく抵抗した彼女も、小一時間ものあいだ頭を水面に押し込まれては溺れかけ、また引き上げる拷問のような責め苦を繰り返されては脆かった。服従の誓いを力なく述べるプリンセス。しかし、それでもまだ彼女の強い心はどこかに芯を残している。最後の支えを砕くため、冷たくなりつつある仲間の骸の前で女性としての尊厳全てを奪う。抵抗できないようにと固められた手がまるでヒレのようで、何もつかめないその指が押しつけられるように友の両足にすがりつき、滑り落ちてはまた支えを求め伸ばされる姿はまさしくペンギンのダンスの滑稽な動き。そうでありながら、しとどに濡れた彼女は憔悴しきっていてもなお美しく、銀の髪と白い肌が傾きかけた陽光に妖しくきらめいた。力の入らない両足で必死に身体を支える動きが膺内の強い締め付けを生み、せめてもの誇りを保とうとする意志が望まないのに背後の男を喜ばせている。それに気づいたとき彼女はついに泣き崩れた。自分の信じる神も、仲間も、一人の人間としての尊厳も、己の支えが何もかもすべてその意味を失ったのだと理解して。

これまでずっと、仲間の前で見せていた副部長としての気丈な仮面は壊れ落ち。弱くて脆く、そして誰よりも美しい一人の少女がただ目の前で股を開いていた。そんな最高のごちそうを男はなおひたすらに蹂躪する。まるでフレンズとしてのこれからのあり方を少女の心に教え込むようにじっくりと蹴る。水によって体温を奪われ、友の身体と同じ温度まで冷えつつあった少女の身体は胸をまさぐる太い腕の熱も、秘部を蹂躪する肉の暴力すらも「あたたかく、心地いいもの」として意に染まないのに受け容れてしまう。次第にゆるゆるとほぐれていく性器から淫蜜が溢れこぼれ、その水音に脳を浸食されるように自分が誰かの所有物になったことを魂の奥底まで刻まれる。自分のナカを往復する支配の象徴を迎え入れるように無意識に腰を動かせば根元まで収めたそれがひととき大きく膨らんで。白い尻が従順に高く掲げられて白濁を受け入れる。子宮が肉棒に食らいつくように痙攣し、精液を飲み干すのを身体全てで感じて。隷従する悦びに少女ははじめての

サンドスターの撮り過ぎには 気をつけましょう。



ジャパリパークはあるよ
みんなのすぐそばに



「ののの -かんさつふれんず-」

奥付

発行者

あるくてんぱとうのかい(歩く電波塔の会)
<http://denpatounokai.akiba.coccan.jp/>



テキスト・企画

きむら秀一(暗黒通信団)

作画

十佳(みつきとーか)

<https://www.pixiv.net/member.php?id=115544>
https://pawoo.net/@touka_m

印刷

サングループ



SUN GROUP

<http://www.sungroup.co.jp/>

発行日

皇紀式六七七年卯月末日

サンドスター…

それは「レンズ」たちを生み出す魔法の結晶。きらきらと輝いて、**サンドスター**はジャパリパークを明るく照らし出してくれる。

サンドスター：純粋なサンドスターは無色透明の結晶であるが、鉱物由来の微量不純物を含有すると金属イオンの錯体形成による多様な発色を示す。

サンドスターの固体は立方晶の連続した結晶體、もしくは粉末状の微小結晶にて自然界に存在する。流通時には結晶もしくは粉末のほか、液体として精製される場合もある。サンドスターは無味無臭であり人体には極めて微量でも強力な幻覚作用をもたらすことが知られていて、肉体の変容感覚や記憶への影響が報告されている。

ご注意「のののちほー」では所により
サンドスターありのレンズ視点と
サンドスターの影響のない現実視点
が混在することがあります。